

令和6年度第1回秋田県青少年健全育成審議会
会 議 録

日 時 令和6年5月20日（月）午後1時30分～午後2時

場 所 秋田県庁議会棟2階 特別会議室

出席者

○ 秋田県青少年健全育成審議会委員（敬称略、五十音順） 13名

石 川	信	秋田県書店商業組合監事
伊 藤	広 行	秋田少年鑑別所長
笈 川	正 典	秋田弁護士会子どもの人権に関する委員会副委員長
大 島	ヒロ子	秋田県警察本部生活安全部人身安全対策課調査官
草 薨	友 愛	秋田県BBS連盟 秋田地区BBS会員
熊 谷	隆 益	公益社団法人青少年育成秋田県民会議会長
齋 藤	和 彦	秋田県青少年団体連絡協議会会長
佐佐木	良 博	秋田県小学校長会 秋田市立河辺小学校長
沢 屋	隆 世	秋田大学非常勤講師
菅 野	薫	学校法人聖霊学園聖霊女子短期大学講師
高 橋	賢 史	秋田県PTA連合会副会長
早 川	恵	秋田県ボランティア団体連絡協議会鳥海山麓自然学校代表
山 名	裕 子	秋田大学教授

○ 事務局

あきた未来創造部長	橋 本 秀 樹
次世代・女性活躍支援課長	糯 田 正 宏
同課チームリーダー	青 山 真紀子
同課副主幹	佐 藤 浩太郎
同課主事	加 藤 栞 奈

進 行	内 容
事 務 局	1 開会
事 務 局	2 秋田県あきた未来創造部長 あいさつ
	<p>開会にあたり、一言御挨拶申し上げます。</p> <p>日頃から、青少年健全育成の推進に御尽力をいただき、感謝申し上げます。また、本日は大変御多用にもかかわらず、御出席賜り、厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、国では昨年12月にこども大綱が策定され、我が国全体のこども施策の基本的な方針が示されました。この大綱では、全てのこども・若者が、個人として尊重され、心身の状況や置かれている環境等にかかわらず、ひとしく権利の擁護が図られること、そして、保護者や社会に支えられながら、心身ともに健やかに成長し、将来にわたって幸せな生活を送ることができる「こどもまんなか社会」の実現に向けて取り組むこととしています。</p> <p>県としましても、変化の激しい社会の中で、秋田の未来を切り拓くこども・若者がたくましく成長し、才能を開花させ、夢や理想の実現に向けてチャレンジしていくことができるよう、家庭・学校・地域と連携し、すべての世代が支え合いながら共に生きる社会の構築に向けて取り組んでまいります。</p> <p>この審議会は、青少年を取り巻く課題等に総合的に対応するため、幅広い観点で御審議、御提言をお願いしているものです。</p> <p>今年度は、第3次あきた子ども・若者プランの最終年度にあたり、次期計画はこども基本法に基づく「秋田県こども計画」として策定を進める予定としておりますので、その策定スケジュール等についても御説明いたします。</p> <p>人口減少が進む本県ではありますが、いつの時代も次の社会を支える源となるのは若い力です。こども・若者の健やかな成長は、社会の希望であり、礎となるものですので、心身ともに健やかに成長できるよう、皆様からの貴重な御提言を、今後の各種施策に反映させてまいりたいと考えております。</p> <p>本日は、それぞれのお立場から忌たんのない御意見をいただきますよ</p>

	うお願いいたします。
事 務 局	3 審議会の概要説明
事 務 局	4 委員・事務局の紹介（名簿の読み上げにより紹介）
事 務 局	5 役員選任、環境浄化部会委員指名等
	<p>本日は委員14名中13名の出席であり過半数を超えていますので、本審議会は成立しております。</p> <p>会長が選出されるまでの間、事務局が議事を進行させていただきます。</p> <p>始めに、次第(5)役員選任、環境浄化部会員等の指名を行います。</p> <p>役員選任は、会長の選任、会長職務代理の指定、環境浄化部会長の選任、環境浄化部会長職務代理の指定となります。</p> <p>会長は、委員の互選によります。</p> <p>会長職務代理と環境浄化部会の委員は、会長が指名します。</p> <p>環境浄化部会長は、部会委員の互選によります。また、要綱により、環境浄化部会長は、審議会の副会長を併任します。</p> <p>環境浄化部会長職務代理は、部会長が指定します。</p> <p>まずは、委員の皆様には会長を選任していただきたいと思います。</p> <p>会長の選任方法について、皆様からご意見はありますか。</p>
委 員	（事務局一任の声あり）
事 務 局	事務局といたしましては、秋田大学の山名裕子委員を推薦したいと思います。ご異議がなければ、拍手をもって賛成の同意を得たいと思いますがいかがでしょうか。
委 員	（拍手）
事 務 局	それでは、会長に山名裕子委員が選任されましたので、山名会長は会長席にお移りください。これからの進行につきましては、山名会長にお願いいたします。

会 長	<p>会長に選任されました山名裕子です。皆様よろしくお願いいたします。</p> <p>こどもの権利が十分に保障されて、こどもが生涯にわたって幸せだと思える暮らし・生活を整えていくということが、私たち大人に求められていることだと思います。そういう社会を実現できるように頑張っていきたいと思っております。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>会長職務代理は、会長が指定することになっています。環境浄化部会長は審議会副会長を併任しますので、職務代理は環境浄化部会長となる方をお願いしたいと思います。</p> <p>次に、環境浄化部会委員の指名をいたします。これまで環境浄化部会の委員を務めてきた方々や、その後任の方に、引き続き部会委員をお願いしたいと思います。事務局案はありますか。</p>
事 務 局	<p>昨年度環境浄化部会委員を務めていただいた石川委員、笈川委員、大島委員、熊谷委員、佐佐木委員、沢屋委員の6名には引き続きお願いしたいと思います。また、新たに伊藤委員、大石委員、草薨委員、高橋委員の4名を加えた10名を推薦させていただきたいと思います。</p>
会 長	事務局案について、何かご意見はありますか。
委 員	(特になし)
会 長	<p>異議はないようですので、ご承諾いただけたものとさせていただきます。環境浄化部会長の選出は、部会委員の互選によります。環境浄化部会長の選任方法について、部会委員の皆さんからご意見はありますか。</p>
委 員	(特になし)
会 長	事務局一任でよろしいでしょうか。事務局案はありますか。
事 務 局	事務局としましては、昨年度部会長を務めていただいた沢屋隆世委員を引き続き推薦させていただきたいと思います。

会 長	拍手をもって賛成の同意を得たいと思いますがいかがでしょうか。
委 員	(拍手)
会 長	<p>それでは、環境浄化部会長に沢屋委員が選任されました。併せて審議会副会長を兼務し、会長職務代理としても選任されます。</p> <p>環境浄化部会長から一言お願いします。</p>
環境浄化 部 会 長	<p>皆様よろしくお願いいたします。</p> <p>環境浄化部会長を２年間やらさせていただきましたが、委員の皆様方からは、本当にこどもたちの環境を良くしたいとの思いが伝わる協議の中で、いろいろな本の推薦を主に活動させていただきました。各委員からは本当に忌憚ない活発なご意見をいただき、多様な話し合いができたと思っております。今年度も、新たに委員になられた方も含めて、様々なご意見を伺いたいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、部会長から、部会長職務代理の指定をお願いします。</p>
環境浄化 部 会 長	昨年度に引き続き、熊谷隆益委員にお願いしたいと思います。
会 長	熊谷委員よろしいでしょうか。
熊谷委員	私でよろしければ、よろしくお願いいたします。
会 長	<p>それでは、会長、部会長、それぞれの職務代理等が決まりました。</p> <p>改めて確認させていただきますと、会長に私、山名が、副会長兼環境浄化部会長及び会長職務代理に沢屋委員、環境浄化部会長職務代理に熊谷委員が決まりましたので、どうかよろしくお願いします。</p> <p>ご異議がなければ、拍手をもって賛成の同意を得たいと思いますがいかがでしょうか。</p>
委 員	(拍手)

	6 秋田県こども計画の策定について
会 長	次第(6)「秋田県こども計画の策定について」、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	<p>それでは、秋田県こども計画の策定につきまして、資料7によりご説明いたします。</p> <p>国では、昨年4月にこども基本法が施行され、12月にこども大綱が発表されました。こども大綱では、全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる「こどもまんなか社会」を目指し、こども・若者のライフステージ別に重要事項を定めています。</p> <p>こども基本法では、地方自治体に対して、こども大綱を勘案してこども施策を定めた計画を作るよう努力義務が課せられており、これを受けて、当県では今年度末までに「秋田県こども計画」を策定する予定です。</p> <p>秋田県こども計画は、現行の「第3次あきた子ども・若者プラン」と「第3期すこやかあきた夢っ子プラン」を統合し、こども・若者・子育て当事者の意見を反映して作成することとしており、計画期間は令和7年度から11年度までの5年間を予定しています。</p> <p>現行の「第3次あきた子ども・若者プラン」は青少年健全育成審議会の審議を経て策定したものであり、「第3期すこやかあきた夢っ子プラン」は社会福祉審議会児童福祉専門分科会子ども・子育て部会の審議を経て策定されたものです。</p> <p>今回、この両プランを統合して秋田県こども計画を作成するにあたっては、それぞれに関係する立場の方々から幅広く意見をいただきたいため、新たに「秋田県こども計画策定委員会」を設置しています。構成員については、(1)秋田県社会福祉審議会児童福祉専門分科会子ども・子育て部会に所属する委員又は臨時委員、(2)秋田県青少年健全育成審議会の委員、(3)その他計画策定のために必要と認める者、の中から知事が指名する委員13人以内としています。当審議会からは、学童期、義務教育期、思春期、青年期、青少年団体の各分野から、秋田県小学校長会を始めとする各団体に所属する委員の皆様へ、個別にこども計画策定委員への就任を依頼しているところです。これから正式な委員委嘱の手続きを取らせていただいた後、第1回策定委員会を7月に開催する予定としており、こども計画の骨子案をご審議いただく予定としています。ま</p>

	<p>た、県では並行してこども・若者・保護者等からのアンケート調査による意見聴取を進めており、こども達から出された意見をどのように計画に反映させていくかについても、策定委員会の中でご相談させていただきたいと考えています。</p> <p>第2回策定委員会は11月を予定しておりますが、これと時期を合わせて第2回審議会も開催し、こども計画の策定状況や、現行の第3次あきた子ども・若者プランの進捗状況等を報告させていただく予定です。</p> <p>こども計画の内容は今年の12月までにほぼ固める予定で、年明けの1月からパブリックコメントや県議会への説明等を経て、3月に計画決定、4月から施行する予定としています。</p> <p>秋田県こども計画の策定についてのご説明は以上です。</p>
会 長	事務局から説明のありました「秋田県こども計画の策定」につきまして、御質問、御意見はありますか。
笈川委員	当事者や恩恵を享受する主体たる児童生徒、未就学児の参加の方法として、アンケートに対する回答以外には何か予定していますか。
次世代・女性 活躍支援課長	現在、アンケート調査を小中高校、専修学校、大学生の皆さんにお願いしているところですが、これ以外につきましても、例えば子育てサークルや子育てイベント等の場で直接意見を伺ったりすることや、若者の皆さんからも様々な機会を通じて直接意見を伺う機会を設けたいと思っていますので、もし委員の皆様からこういう機会もあるというのであればご紹介いただければと思います。
会 長	ざっくばらんところで聞く方が本音を聞けるのではないかと思いますし、あるいは様々な事情を抱えるお子さんがいる中では限界があるものの、押さえるべきところを押さるという意味では、アンケートの手法も分からなくはないと感じます。
伊藤委員	私は前任がこども家庭庁でして、国のこども大綱がこういう形で各地域のこども計画になっていくのだなと感じながら見ていました。先ほど及川委員からも質問のあったこどもから意見を聞くことに関しては、こども家庭庁では、こども大綱ができ上がる前からいろいろと取り組んできましたので参考になると思います。こどもから直接意見を聞けるよう

	<p>な、こどもが自ら意見表明できるような場があると良いです。</p>
沢屋委員	<p>私は大仙市に住んでいますが、こども達を取り巻く環境はものすごく少子化が進んでいて、イベントの参加者から意見を聞くといっても、本当にこどもが少ない地域もあり、秋田市と郡部などでも全く異なる部分があると思います。</p> <p>全県の計画となりますので、小さなところも含めて、できるだけ幅広い地域からこども達の意見を拾っていただきたいと思います。中心部のような人が集まる場所だけではなく、少子化で悩んでいる地域なども含めて状況の聞き取り等をしていただければと思います。</p>
次世代・女性 活躍支援課長	<p>地域ごとにやはり課題は違ってくるものだと思いますので、幅広く、様々な機会を通じて意見を聞かせていただければと思っています。</p>
早川委員	<p>私は様々な機会というのはどんなことなんだろうと感じています。</p> <p>年間を通じてこども達の自然体験活動を行ってきており、全国あちこちに行く機会がありますが、例えば岡山・鳥取の方でのそういう活動では、わりとこども達だけが参加していたり、ひとり親家庭の方などがすごく多く、そういう方々に良い場所となっているようです。</p> <p>でも、私が鳥海山麓でこういう活動をしている中では、大学の先生や医者等のお子さんが多く、そういった環境の方々はあまり来ないです。秋田ではやはりイベント等に来る人達が限られていたりするようなところが結構あって、こども達の夢の実現に向けてといったことでは、わりと満たされてる方だけの意見に偏ってしまうのではないかなと感じます。せっかくこのような専門の方々が集まる会議を作るので、ぜひそういうところまで手が届くようなことをいろいろ考えていただければと思います。</p>
次世代・女性 活躍支援課長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>様々な環境のところに置かれたこどもがいると思いますので、例えばひとり親家庭の支援団体等も通じてお話を聞かせていただく予定です。し、難しいのは、ひきこもり・不登校のこども・若者からはどのような形で意見を聞けば良いのか、我々も悩んでいるところです。例えば、県内4箇所に設置されているスペース・イオでは、学校へ行きたくとも行けない、不登校やひきこもり傾向にある児童生徒やその保護者への支援</p>

会 長	<p>活動を行っていますが、そこを利用しているこどもはまだ義務教育中であって所属している小中学校があるため、なかなか連絡の取りようが難しいところではありますが、直接学校に伺って協力を依頼しているところです。</p> <p>また、なかなか学校に通えず居場所を探しているようなこどもについては、これからそういったこどもの支援団体を通じて、こういった意見の聞き方ができるかといったところをまずは確認しながら、意見聴取を進めていきたいと思っています。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>本日の議事は以上となりますので、進行を事務局にお返しします。</p>
事 務 局	7 事務連絡
	<p>事務連絡をお伝えいたします。</p> <p>次回は、11月に第2回審議会の全体会と環境浄化部会の開催を予定しております。後日、日程調整の上、改めて事務局からご連絡いたします。</p>
事 務 局	9 閉会
	<p>それでは、これをもちまして、令和6年度第1回秋田県青少年健全育成審議会を終了いたします。</p> <p>皆様、ありがとうございました。</p>